

資料提供	
平成24年2月9日	
担当課 (担当者)	県立博物館 美術振興課 (竹氏倫子)
電話	0857-26-8045

県立博物館 美術常設企画展示
「画家と旅—画家たちは異国で何を見たか」の開催について

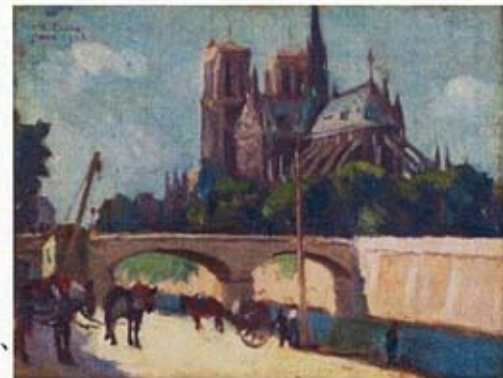
県立博物館では2月18日より、標記の美術常設企画展示「画家と旅—画家たちは異国で何を見たか」を開催します。つきましては、この展示について広くご案内くださいますとともに、取材いただきますようお願いいたします。

1 開催趣旨

日本では明治時代以降、数多くの画家が海を越えて世界各地に旅立ちました。その目的は留学・取材・観光・従軍など画家によって異なり、行き先や期間も多岐にわたります。本展では、永住を目的としないこれらの移動を「旅」とみなし、画家の活動に与えた影響を概観します。具体的には、鳥取県出身画家が渡航体験を基に描いた作品のうち、明治時代後期から昭和時代前期に制作されたものを対象とし、当館収蔵品を中心に展示します。また、出品作品は「Ⅰ フランス、アメリカへ」「Ⅱ アジア、南洋群島へ」の2章に分けて展示します。

2 出品作家・出品予定点数

森岡柳蔵、香田勝太、前田寛治、木山義喬、笹鹿彪、
 小早川秋聲、山本芳智、伊谷賢蔵
 油彩画35点、日本画2点、素描・スケッチブック20点
 (出品点数は変更される可能性があります)



香田勝太《ノートルダム・ド・パリ》
 1928年、当館蔵

3 会 期 平成24年2月18日(土)～
 3月25日(日)
 休館日：2月20日(月)、2月27日(月)、
 3月21日(水)

4 会 場 鳥取県立博物館2階 近代美術展示室

5 主 催 鳥取県立博物館

6 関連事業 (1)ギャラリートーク(観覧料が必要です)
 3月10日(土) 14:00～14:30頃、近代美術展示室
 (2)アートセミナー「伊谷賢蔵の描いた中国」(本県出身画家・伊谷賢蔵が
 日中戦争下の中国で描いた作品について、学芸員が解説します)
 3月17日(土) 14:00～15:30、2階会議室

7 観 覧 料 常設展示の観覧料 一般180(150)円
 ※()は20名様以上の団体。学生以下、70歳以上の方は無料

8 問い合わせ先 鳥取県立博物館 美術振興課 担当：竹氏倫子
 鳥取市東町2丁目124 (電話：0857-26-8045)